

## 秋季点検で訓練の成果を発揮

村消防団（倉澤憲治団長）による秋季点検が10月8日に行われました。

団員たちは総合運動公園多目的グラウンドに集合し、午前8時30分から点検の準備に入りました。

午前は、利根沼田広域中央消防署の職員の指導の下、点検項目のチェック。厳しい訓練を行いました。

午後の点検は、村消防委員や各区長らが見守る中、団員たちはきびきびとした態度で点検に臨みました。姿勢服装の点検、ポンプ操法、ラッパ吹奏など、いくつもの点検が行われる中で団員たちは迅速・機敏な行動を披露していました。

また、この他にも保育園児による行進や、功労者の表彰が行われました。



見事な操法を披露



功労者を表彰



園児たちも立派に行進

## 今年も諏訪祭りを盛大に開催

毎秋恒例の諏訪祭りが川額八幡宮、森下大森神社でそれぞれ開催されました。

川額地区では9月28・29日に開催。今年は大天候に恵まれ、八木節や昭和音頭などをみんなで踊っていました。2日目の午後8時30分すぎになると、子供たちの手で境内に2基のまんどろが入場。神社の周りで7回めぐりを行いながら威勢よくまんどろをぶつけあいました。

森下地区では9月30日・10月1日に開催。会場は、子供からお年寄りまで数百人の来場者でいっぱいとなっており、大

盛況でした。こちらでも2日目の9時すぎに7回めぐりが行われ、多くの見物客の見守る中、激しくまんどろをぶつけあっていました。



激しいぶつけあい



はい、チーズ



大勢の観客が詰めかけました

## チャリティーゴルフ

で20万円を寄付

村ゴルフクラブ連合会（遠藤信蔵会長）では10月18日、村社会福祉協議会に20万円の寄付を行いました。

これは、同会が毎年実施しているチャリティーゴルフ大会の収益の一部を寄付しているもので、今年で26回目。社会福祉に役立ててもらおうと毎年寄付を行っています。

なお、ゴルフ大会参加者からの募金9万9千円も一緒に寄付されました。



福祉に役立てます

# 三代目が水くみまつりを開催

三代目（代表高橋宣明）による水くみまつりが10月15日、赤谷住民センターで行われました。

この『水くみまつり』は、開拓時代苦



みんなに見守られゴール



昔の大変さを実感した紙芝居



いいお湯です

労した水くみを体験し、「開拓魂」を呼び起こそうと、昨年から三代目が開催しているもの。

村指定文化財『出入の湧水池』から住民センターまでどれだけこぼさず水運ぶことができるか競う水くみマラソンや昔の大河原小児童が作成した紙芝居の上演、料理コンテストなどいくつものイベントが行われました。

最後は去年と同様にドラム缶風呂。高橋代表や水くみマラソンに参加した子供たちが熱いお湯につかっていました。

# チャリティーで見事な舞踊を披露

村舞踊協会（竹之内みち江会長）では10月16日に「チャリティー舞踊発表会」を行い、村社会福祉協議会に15万6、598円の浄財を寄付しました。

発表会に参加したのは同協会に所属する7団体、およそ80人。54演目が演じられ、参加者たちは日頃のけいこの成果を存分に発揮していました。

この発表会は平成7年から始められており、今回で11回目。会場となっている村公民館多目的ホールは、毎年300席がいっぱいで、今年ももちろん満席。立

ち見が出るほどのにぎわいでした。

お昼には、竹之内会長から社会福祉協議会（高橋信雄会長）にステージ上で浄財が手渡されました。



見事な踊りで客席を魅了



息のあった踊りを披露

# 赤西昭和第1地区が 記念碑除幕式

10月14日、赤城西麓土地改良事業昭和第1地区区記念碑除幕式が行われました。昭和1地区は、平成2年度から16年度まで、県営畑地帯総合整備事業を実施。低コスト・高生産性・高付加価値農業を進め、輸入自由化等の農業情勢に柔軟に対応できる「力強い農業の構築」を目指してきました。

除幕式後の竣工式では、実行委員長の加藤芳夫さんがあいさつ。関係者へのお礼と、施設を利用した農業への希望を語っていました。



除幕の様子